



宮田中学校だより



梅 樹

平成28年12月6日(火) No. 特別号 宮田村立宮田中学校 文責(保科)



全国学力学習状況調査結果の分析と今後の学習指導

今年度、4月19日に行いました『全国学力・学習状況調査』の結果について、分析と今後の指導の方向をお知らせしたいと思います。全国平均と比べ高い・低いという見方だけではなく、全体的な傾向をつかみながら、個々の生徒に寄り添った分析を心がけ、指導を積み重ねてきています。また、見えてきた課題について、今後の方向もお知らせします。ご家庭においても、生徒の学力向上をどのように図っていったらよいか、一緒に考えていただければと思います。



* 全国平均との比較

◎ (大きく上回る) ○ (ほぼ同じ) △ (大きく下回る)

【国語A: 主として知識理解より】

言葉の意味を大切に。復習をして力を定着させましょう!

平均正答率	○			
領域別	話す・聞く	書く	読む	言語
全国平均との比較	○	◎	○	○

Aの知識を見る問題では、すべての領域において全国平均を上回りました。一方、若干書写と古典の力に課題が見られました。ある時期に集中的に行う分野のもので、その学習をしているときには理解していても、時間が経つと忘れてしまうという部分がありそうです。繰り返し学習することが必要と考えます。

【国語B: 主として活用から】

自分の考えを書く活動を増やしていきましょう!

平均正答率	◎			
領域別	話す・聞く	書く	読む	言語
全国平均との比較	△	◎	◎	△

Bの活用を見る問題では、すべての領域において全国平均を大きく上回りました。特に、「書く」分野での伸びが著しい結果でした。これは、昨年度の反省から、書く力をつける学習を行ってきたことが学力の向上につながっていると考えられます。一方、文章の構成を捉えることができるかどうかを見る問題では、やや下回りました。この問題は、図表と説明文との関連を読み取ることができるか、説明文が利点なのか課題なのかを見極められるかが求められていました。図表の関連付け、内容の捉えともに力を付けていきたいと思えます。



【数学A: 主として知識理解より】

自分の考えを友だちに説明することを大切に!

平均正答率	○			
領域別	数と式	図形	関数	資料の活用
全国平均との比較	○	○	◎	○

A問題は、すべての領域で全国平均を上回る結果となりました。生徒が授業で考え合ったり、実施してきている「週末プリント」を頑張ったりしていることが、この結果につながっていると思われる。一方、週末プリントでは、やってこない生徒や友だちの答えを写している生徒がいるのも現状です。是非自ら有効に活用して更に力を伸ばしてほしいと思います。「資料の活用」では、用いる言葉や数学的な表現に対する理解が不十分であることがうかがえます。具体的には「真の値」や「真の値の範囲」、「同様に確からしい」など、各領域において用いられる言葉や表現についての理解を深めさせたいと思います。それには、授業の中で教師側から意識的に用いたり、そうした言葉を用いて説明する場面を設定したりもしていきたいと考えます。

【数学B: 主として活用から】

解決方法を振り返ることを大切に!

平均正答率	◎			
領域別	数と式	図形	関数	資料の活用
全国平均との比較	◎	◎	◎	◎

B問題は、すべての領域で全国平均を大きく上回る結果となっています。その中で、与えられた条件(条件文・表や式やグラフ・資料など)や1つの問題に対して示された解決する方法などを読み取った上で、それをもとに問題を解決したり判断して理由を説明したりすることに課題があることも分かってきました。条件や資料の傾向を的確に捉えて説明する場面を設定し、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する場面を位置づけるようにしていきたいと思えます。正答を導き出すだけでなく、導き出された結果が問題に適しているかや結果が問題に対してどういう意味を持っているのかなども目を向けさせていきたいと考えます。



【生活面について】

ゲームやスマホ、SNSについて、考え合いたいと思えます。

昨年度に比べ、『テレビやビデオ、DVDを見る時間や携帯電話、スマートフォンで通話やインターネットをする時間』が減少した一方、『ゲーム時間』が増加という結果となりました。ゲームにも様々な種類があり、ネット環境の中で行うものも増加しています。ネットに関わって事件に巻き込まれる事例は全国的に増加していることは周知の通りです。ゲーム、スマホ、SNS等、今本当に必要な物なのかについて、もう一度各家庭で話し合ってくださいようよろしくお願いいたします。

【心情面について】

開かれた人間関係を築きながら、思いやりの心を育てましょう!

「人の役に立つ人間になりたい」という考えの生徒が増えてきているのはいい傾向です。また、年2回の人権教育強調週間や週1回の道徳の授業を充実させて、人の心の痛みがわかる人権感覚を高めていきたいと思えます。生徒会活動や全校行事などを通して、普段あまり関わりのない異なる学年の生徒とも共同の作業や話し合いをしながら、新しい人間関係を築いていくことも引き続き大切に考えていきます。

